

**地域密着型サービス 運営推進会議 報告書**

事業所名：ホームヘルプステーション ながひさ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

■定期巡回・随時対応型訪問介護看護

日 時： 令和3年9月27日（月曜日）15：30～16：00

場 所： 和かち逢う家 然

出席者：7名

利用者代表	0人	知見者・地域代表	1人
利用者家族	1人	大田市職員	2人
医療関係者	1人	連携訪問看護	1人
事業所職員（職名：管理者・サービス責任者）			2人

欠席者 人

報告事項：

利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

月	利用者数
4月	35名
5月	34名
6月	33名
7月	33名
8月	36名
9月	38名

②要介護度

【介護度別】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護1	12名	12名	13名	12名	13名	13名
要介護2	12名	11名	10名	10名	12名	13名
要介護3	6名	6名	4名	4名	4名	4名
要介護4	4名	4名	5名	5名	4名	6名
要介護5	1名	1名	1名	2名	3名	2名
計	35名	34名	33名	33名	36名	38名

③男女比率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男性	10名	10名	12名	13名	14名	14名
女性	25名	24名	21名	20名	22名	24名
計	35名	34名	33名	33名	36名	38名

④年齢

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
60代	1名	1名	1名	1名	1名	1名
70代	1名	1名	1名	1名	1名	2名
80代	10名	10名	12名	12名	11名	11名
90代	22名	21名	17名	17名	21名	22名
100代	1名	1名	2名	2名	2名	2名
計	35名	34名	33名	33名	36名	38名

⑤地域（住所）別利用

和かち逢う家入居者のみ利用されている。

地域名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
大田町	5名	5名	4名	4名	5名	6名
水上町	1名	1名	1名	1名	1名	1名
富山町	1名	1名	1名	1名	1名	1名
川合町	2名	2名	2名	2名	2名	3名
長久町	12名	11名	12名	11名	11名	10名
温泉津町	3名	3名	2名	3名	3名	3名
五十猛町	2名	2名	2名	3名	3名	3名
大森町	1名	1名	1名	1名	1名	1名
仁摩町	2名	2名	2名	2名	2名	2名
鳥井町	1名	1名	1名	1名	1名	1名
静間町	3名	3名	2名	2名	2名	2名
祖式町			1名	1名	2名	2名
大代町	1名	1名	1名		1名	1名
久手町						1名
福島県	1名	1名	1名	1名	1名	1名
計	35名	34名	33名	33名	36名	38名

議 題：

1 活動状況報告

- ・現在、38名定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用されている。  
(新規4月：0名 5月：0名 6月：2名 7月：2名 8月：2名 9月：2名)
- ・新規利用は4月～9月では8名。サービス終了者は4月～9月は7名あり。
- ・介護1、介護2が大半を占めている。認知症があり、服薬管理や服薬が自分では難しい、また歩行器や車椅子を使用される方がほとんどで食事誘導等介助が必要である為頻回の訪問が必要。

## 【提供実績】

月	定期訪問	随時訪問
4月	5680回	60回
5月	5540回	97回
6月	4859回	109回
7月	5908回	36回
8月	6653回	30回
9月	5530回	371回

## 2 意見、要望等

### 「事業所から」

- ①定期訪問回数は認知症の方が増え、退院後の状況観察のためや日常生活に介助が必要（服薬・食事誘導他）であり頻回の訪問を行っている為増加している。
- ②サービス付き高齢者向け住宅は個室で独居となる為夜間も起床就寝介助で訪問や、自分では水分補給が難しい為午前・午後で水分補給の訪問を行っている。多い方で1日9回の訪問を行っている方が半数以上おられる。
- ③カンファレンスにて訪問内容の確認や状態に応じながら定期訪問の追加や削減を行っている。
- ④職員不足の現状は変わらず続いている。

### 「訪問看護から」

- ・1月に一度状況報告を行う中で、ご利用者の体調や病状についてヘルパーに報告を行い、必要があればサービス内容の提案を行う中でカンファレンスにて検討をしている。先程他職種連携について触れられたが、PTのみでなくSTや栄養士も介入して頂く中で機能向上に繋がるサービスの提供を目指している。最近では声掛けによる手洗い・マスクの定着も図られ、認知症の方にも浸透して来ている。今後も声かけをしながら、出来ることを少しでも増やせるよう協力体制を整えていく。

### 「知見者・地域代表から」

- ・和かち逢う家の利用者について、福島県の方が住所地特例で入所されていることは把握していたが、利用に当たり美郷町や江津市の計8名が住所地変更して入所されている件に関して福間係長に質問あり。調べて報告するとの返答かえる。

### 「医療関係者から」

- ・最近になり介護スタッフのスキルアップに繋げるために、職員が出会った事例を中心とした定期的な勉強会を行っている。自身のスキルアップのために参加して頂きたい。今後も起こった事例を中心としながらフィードバックを行い職員のレベル向上に努めていく。

### 「利用者家族から」

- ・コロナでなかなか面会が出来ない中、日中のみならず夜間を通して職員の皆様には母が大変お世話になり感謝している。皆さんは日々多忙であり、こちらが母に届け物をする際にどなたもおられないことがあるが、電話をかけて玄関まで出て頂くことは迷惑ではないでしょうか。  
→(ANS) 連絡して頂くか、玄関でチャイムを鳴らして頂けたら出向くと伝える。

### 「大田市役所から」

- ・今後は介護現場での働き手の不足により、ヘルパー事業所が減少することが予測されるため、和かち逢う家の外へ定期巡回を広げていく方向で考えて頂けたらうれしく思う。
- ・提供実績の中の随時訪問の回数が前月と比較しても際立って増加しているが何か理由があるのか？  
→新たに入所されたご利用者のキッズ携帯の使用ミスや以前から利用されている方の認知症状の進行に伴い訴えが増えており、同様な内容の繰り返しや違う内容で何度も呼ばれることがある。その都度対応するとなると自ずと回数の増加に繋がってしまうというのが現状である。

## 3 今後について

- ・今後もコロナ感染の拡大防止が続く中、精神面のケアも含めて他職種で連携し、関わる事で利用者様に安心して過ごして頂きながら、自立支援に繋げていけるケアを目指していく事を継続して行っていきたい。
- ・外部ケアマネの定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用が増えてきているので建物以外での定期巡回・随時対応型訪問介護看護利用者確保に繋げていきたい。
- ・自己評価について  
10月に実施していく。結果を3月の会議にて報告する

## 4 その他

次回 令和3年3月22日(月) 15:30~開催予定